

2018年度 事業計画書

(概要版)



公益社団法人

日本アイソトープ協会

Japan Radioisotope Association

事業計画の基本方針

1. アイソトープの供給から廃棄

- ・線源安定供給に向けた取組み、川崎技術開発センターの確実な業務実施・セキュリティ対策
- ・放射性医薬品安定供給に向けた取組み、利用拡大に向けた情報発信の取組み
- ・RI廃棄物集荷・貯蔵・処理等の安全で効率的な運営、施設の合理的運用の検討

2. 調査研究・普及啓発

- ・部会間及び他学会との連携強化、再編成する新部会における放射線利用促進のための活動
- ・関係法令の改正に対応した講習会の実施、利用者ニーズに合致した講習内容の改善・企画
- ・法令改正関連情報及び安全管理情報の提供、アイソトープ利用を促進する活動

3. 組織運営

- ・本部再開発計画の基本方針決定に向けた検討や各種調査
- ・働き方改革推進のための労務管理体制の整備及び職場のワークフローの改善
- ・既存業務の確実な実行、新たな事業の創出に向けた有効な取組み

アイソトープの供給から廃棄 主な取り組み

アイソトープ

- 川崎技術開発センターにおいて本格的に業務開始するとともに、安全管理の充実、セキュリティ対策等を進める。
(2018年1月 川崎技術開発センターへのアイソトープ部業務移転)
- 線源価格高騰、海上輸送コストの上昇を受け、国内外の流通情報を収集活用し、新規調達先の開拓や輸送手段の確保など安定供給に取り組む。
調達先に対して品質マネジメント活動を要求し、満足できる製品の供給を実現する。
- 信頼性の高い放射線・放射能標準を供給し、更なるアイソトープの安全利用の普及に寄与する。
RI製造技術や新たなRI利用等に関する研究技術開発を他機関と連携し進める。

放射性医薬品

- 放射性医薬品の頒布に関して、製薬企業と連携した迅速な情報提供に努める。
共同受注システムによる情報発信の充実を行うとともに、システム改修計画を進める。
- 利用拡大に向けて、新規医薬品の情報収集と利用環境整備、安全管理・取扱いの情報提供を進める。

アイソトープの供給から廃棄 主な取り組み

RI廃棄物管理

- RI使用施設における集荷作業及び運搬において安全確保に十分留意し効率的な集荷を実施する。
インターネットによる容器借用及び集荷依頼の申込システムの運用を開始し、サービスの向上を図る。
- RI廃棄物を安全かつ適切に貯蔵管理しつつ、貯蔵施設の効率的な運用を実施する。
処理施設で得られる技術的知見を積み重ね、安全を確保しながら効率的な減容処理を推進する。
- RI廃棄物の合理的な取扱いの検討に向けて、医療RI廃棄物の性状調査、放射能濃度測定を引き続き実施する。
放射化物のクリアランス等の実施方策について調査を実施する。
- 溶融処理による合理的な廃棄体作製方法について、引き続き調査検討を進める。

調査研究・普及啓発 主な取り組み

部会活動・研究発表会

- 【理工・ライフサイエンス部会(理工学部会、ライフサイエンス部会を統合し発足)】:
植物RIイメージ及び獣医療分野での利用拡大、下限数量以下のRIの安全利用推進、
関係学会等の連携強化による新たな取り組み
- 【医学・薬学部会】:放射線安全管理に係るガイドライン改訂等の核医学診療環境整備、
全国核医学診療実態調査の結果公表、内用療法や小線源治療に関する講習会
- 【放射線安全取扱部会】:支部や専門委員会を中心とした教育訓練講習会開催、
年次大会(仙台市)の開催、主任者ニュース発行
- 第55回アイソトープ・放射線研究発表会(東京都文京区)の開催

講習会

- 法令改正に対応した講習会の企画、主任者講習・作業環境測定士講習・定期講習開催

図書、広報活動、啓発活動

- Isotope News誌・RADIOISOTOPES誌の発行、法令改正に対応した図書の改訂、
看護職の原子力・放射線教育のための向けトレーナーズトレーニングの開催

組織運営 主な取り組み

情報提供

- 定期的にメールマガジンを発行し、迅速な情報提供を行う。
配信データを分析し、より会員ニーズの高い情報提供を行う。

組織運営

- 本部等のRI施設の廃止措置を安全かつ効率的に実施するため、廃止措置に係る業務を所掌する組織を強化する。
- 本部再開発計画の基本方針決定に向けて検討を進める。また、必要な調査を実施する。
- 労務管理体制の改善、事業所間のワークフロー改善を進める。
(複数拠点での業務実施を円滑に進めるための取り組み)
- 協会内外の事業環境を的確に把握して公益法人としての役割を効果的に果たすため、既存業務の確実な実行や新たな事業の創出に向けた有効な取り組みを推進する。